

計画の名称	延岡市中心市街地活性化整備計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	延岡市												
計画の目標	<p>延岡市の中心市街地は、交通結節点としての延岡駅や個人商店が軒を連ねる商店街などの都市機能が集積した地域である。</p> <p>しかし、中心市街地の大型店舗が平成12年と平成13年に相次いで閉店するなど、近年は経済活力の維持に支障が生じている。</p> <p>今後の高齢化や人口減少社会に対応し持続可能なまちづくりを推進するためにも、中心市街地活性化は喫緊の課題である。</p> <p>このような状況の中、複合的な機能を持つ施設の整備による生活者の利便性や生活環境の向上、中心市街地周辺及び市内観光拠点との連携強化による市外からの来街者増加、空き店舗等を活用した経済活力の向上等について、官民一体となり推進することで、「働く場」・「賑わいの場」としての中心市街地の形成を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,440	A	2,420	B	0	C	20	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.81	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成26年度末	平成32年度末	平成34年度末
1	中心市街地の居住人口増加 中心市街地(山下町、萩町、幸町)の居住人口(現住人口)を計測する。 計測	1463人	1500人	1500人
2	中心市街地の通行量(平日)増加 中心市街地の平日歩行者・自転車の通行量を計測する。 計測	3301人/日	3400人/日	3440人/日
3	中心市街地区域内の空き店舗率減少 中心市街地区域内の空き店舗数を計測する。 計測	28%	25%	23%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H30	H31	R02	R03	R04						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	延岡市	間接	株式会社まちづくり延岡	-	-	優良建築物等整備事業	優良建築物等整備 約5,700㎡	延岡市						2,420	1.04	-			
												小計						2,420				
											合計						2,420					

C 効果促進事業

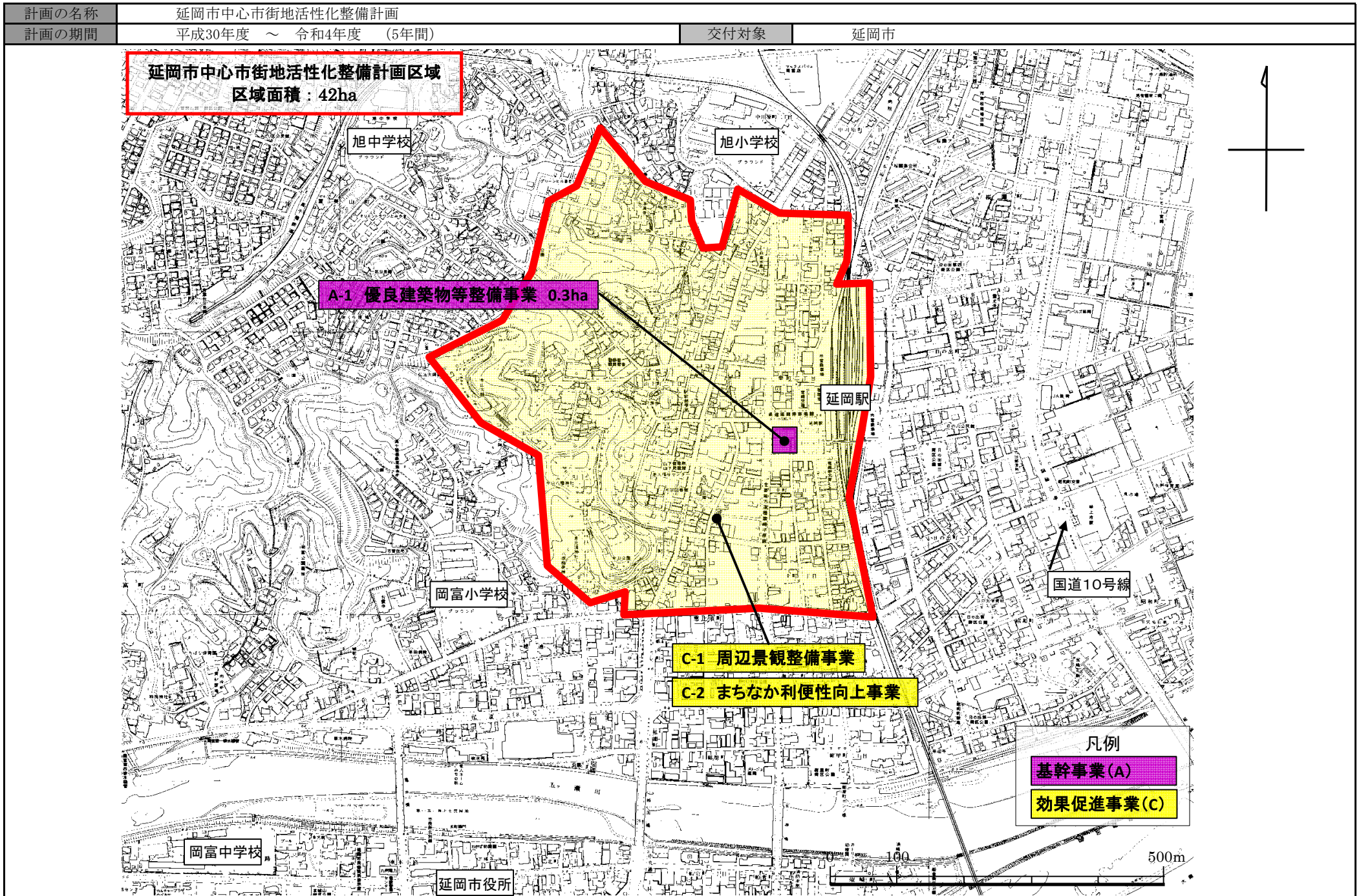
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	延岡市	直接	延岡市	-	-	周辺景観整備事業	リノベーション、サイン、植栽等の景観整備	延岡市						10	-		
	A-1と一体的に実施することで、中心市街地の魅力や利便性向上を図り、居住者や来街者が増加することにより、中心市街地の活性化が期待できる。																			
	C16-002	住宅	一般	延岡市	直接	延岡市	-	-	まちなか利便性向上事業	地域通貨等利用環境整備、駐車場等システム整備	延岡市						10	-		
	A-1と一体的に実施することで、中心市街地の魅力や利便性向上を図り、居住者や来街者が増加することにより、中心市街地の活性化が期待できる。																			
											小計						20			
											合計						20			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R2		
配分額 (a)	34	59	102		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	34	59	102		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	25		
支払済額 (e)	34	34	35		
翌年度繰越額 (f)	0	25	92		
うち未契約繰越額 (g)	0	25	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率(h = (g+h)/(c+d))	00.0%	42.4%	00.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	計画に関する諸条件 (計画地の居住者の転出時期)	-		

参考図面 (社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 延岡市中心市街地活性化整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

計画について住民等との間で合意が形成されている。

○